

番号	2-2-3		表題	砂系反応槽における窒素処理能力について	
内 容	<p>砂町水再生センターにおいて、砂系は反応槽が浅槽であり、東陽系に比べて窒素除去率が低いことが課題となっている。</p> <p>砂系反応槽では窒素除去率を向上させるため、以前からライザー弁閉止による脱窒促進を行うなどの対策を実施している。今回詳しくその効果を確認するため、すべてのライザー弁の箇所ごとにDO測定を行い、DOと窒素濃度の関係を調査したところ、次の知見が得られた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・砂系反応槽各回路において、ライザー弁閉止箇所でDOが低下していることを確認した。</li> <li>・ライザー弁閉止箇所では反応槽内の窒素濃度が減少しており、対策の効果を確認することができた。</li> <li>・砂系において、水量増による窒素処理能力の低下は一時的に見られたものの、しばらくすると元の水準に戻ることを確認した。</li> </ul>				
キーワード	浅槽 窒素除去率、ライザー弁、DO				
処理区名	砂町処理区	位置区分	処理場 水再生センター		
職種区分	環境検査	施策区分			
状態区分	調査 研究	新規性			
実施年度	令和3年度	全体期間	令和2年度～令和3年度		
担当部署	東部第一下水道事務所 砂町水再生センター				
発 表 履 歴	局内	令和3年度 水質技術研究発表会			
	局外				
調査方法	直営調査				
関連情報					